



2024

学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第19号
令和6年9月3日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

夏休みのこどもたちの様子はいかがでしたでしょうか？

ついに夏休みも終了しました。こどもたちはどのような夏休みを過ごしたのでしょうか？各ご家庭で振り返っていただきたく、この号を書いております。

休みの時の毎日ってあっという間に過ぎていくものです。こどもたちもついついその流れに巻き込まれてしまって、気がつくと宿題に追われているという状況が多々あります。「毎年、毎年こうなんですよ（苦笑）。夏休みが終わるたびに親子げんかが絶えません。」という相談を受けたこともよくありました。私にも息子が2人おりますが、夏休みのたびに、もれなく叱咤、激励する毎年でした。本当に一緒に苦労をした経験があります（笑）。しかしながら、現在は「あのとき、叱ってくれてありがとう。」と言ってくれるようになったので、成長したものだと思います。



ですので、本荘小のこどもたちにも身に付けてほしい力の一つに自主性があります。現行の学習指導要領でも「学びに向かう力、人間性など」が柱の一つとして取り上げられています。これからの時代必要な学びであることは間違いありません。では、学びに向かう主体性や自主性はどのようにして育つものなのでしょうか。

終わってしまいましたが、夏休みや土曜日曜などの休日は「学びに向かう力」を育てるのによいチャンスであると考えます。例えば、私が学級担任の時には、夏休みの前に夏休み期間中の時間割を自由

に作らせていました。「学校の時間割にしばられないで、自分の好みで時間割をつくってよいのだよ。自分のライフスタイルに合わせた素敵な時間割を考えてごらん。」と言ってこどもたちに知恵を絞らせるのです。これって今でいう「カリキュラムマネジメント」なのですけどね（笑）。

特に高学年の子どもは一生懸命に考えます。夏休みのドリルなどには、何時に起きて何時に寝るといった一日の計画表がついているものがあるので、各ご家庭で確認したり、一緒に考えたりしてみるとよいですね。特に今年もなかなか宿題や学習が満足にできていなかったと反省されるご家庭がありましたら、ぜひ校長までご相談ください。一緒に考えましょう。そして、冬休みや来年度の夏休みを目標にすればよいのです。

まず、計画を立てる時に必要なことは何か？それは、間違いなく見通しを立てることです。簡単に言うとめあてや目標をきちんと決めるということです。「ちゃんと勉強する」とか「しっかりとやる」といった抽象的であいまいな目標でなく、「1週間後には〇〇ページまで終えて、わり算の正答率を80%以上に上げる」とか「漢字の正答率を9割以上にするために、タブレットでドリルパークを毎日10分する」といった具体的な目標であることが大事です。そして、「〇〇時間勉強する」という具体的な方法だけでなく、結果として「自分が身に付けたい力」、例でいえば（裏面へ）

「わり算の正答率8割」とか「漢字の正答率9割」といった具体的な目標も同時に設定するのです。方法的な目標を決められども、自分の力が向上していないのなら、方法を改善しなければいけません。これは、ビジネスでいうところの「PDCAサイクル」と同じです。具体的な目標を計画し、実行する。そして、チェックして次の行動へつなぐのです。

これが身につくと、毎日の勉強だけでなく、将来の自分へつながり、「夢」の実現へとつながるのです。これが身についていないと、毎日を悶々と過ごしたり、ネット上の動画にはまり込んだり、ゲームばかりしたりと生産性のない毎日となって、やる気につながらないという悪循環になります。

でも、これはみんな一度や二度は経験したことがあるはずで、私もこどもの頃の夏休みってむだに過ごした時間の方が多かったはずで、でも、私の時代はそれでもよかったかもしれません。しかし、今を生きる子どもたちにとって「自主性」「主体性」という要素はとても重要なものになっているのです。ぜひ、ご家庭でこの学校だよりと一緒に読んで話題にしてください。頭ごなしに指導するよりも一緒に考える。やらせるだけでなく、自分でやれるようにサポートすることが、私たち大人の役目なのだと考えます。ぜひ、お悩みのご家庭があればご相談ください。(校長)

校長先生の虫眼鏡

「主体的・対話的で深い学びの実現について(イメージ) 文科省資料」

文科省のイメージです。本荘小学校でも常に授業改善に取り組んでいます。

主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」) の視点からの授業改善について(イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。



学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。



【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。